

| 科目名<br>Course Name  |  | 開講年次        | 開講学期              | 曜日・時限                 |
|---|--|-------------|-------------------|-----------------------|
| 介護職員初任者研修講座Ⅳ(こころとからだのしくみと生活支援技術)<br>Care Staff Beginner's Training IV   |  | 2年          | 前期                | 別途、時間割参照              |
| 単位数   | 授業の形態  | 授業の性格       |                   | 履修上の制限                |
| 1単位   | 演習   | 選択          | (介護職員初任者研修ユニット必修) | 介護職員初任者研修ユニット履修者のみ履修可 |
| 当該科目の理解を促すために受講しておくことが望まれる科目  |  |             |                   |                       |
| 特になし  |  |             |                   |                       |
| 同時に履修しておくことが望まれる科目  |  |             |                   |                       |
| 介護職員初任者研修講座Ⅰ～Ⅲ、Ⅴ  |  |             |                   |                       |
| 担当者に関する情報   |  |             |                   |                       |
| 氏名  | 研究室の場所   | オフィスアワー     | 電話番号・メールアドレス      |                       |
| 和田晴美/新井文子   | 福祉棟2F  | 各担当教員から説明する | 授業中に指示します         |                       |
| 授業の概要   |  |             |                   |                       |
| 介護職員初任者研修講座Ⅳでは、環境調整と家事、食事、排泄及び終末期の介護について学ぶ。まず介護技術の根拠となる人体の構造や機能を理解したうえで、これに関連させながら、安全で的確な介助の技法、利用者の状態・状況に応じた介助の留意点等を講義・演習を通して習得する。                                    |  |             |                   |                       |
| 授業の目標   |  |             |                   |                       |
| ①利用者の身体状況に合わせた介護、環境整備のポイントを列挙できるようにする。<br>②家事支援の機能と基本原則について説明できるようにする。<br>③食事と排泄に関するからだのしくみが説明でき、安全に介助できるようにする。<br>④ターミナルケアの考え方、対応のしかたや留意点、介護職の役割や多職種との連携を説明できるようにする。 |  |             |                   |                       |
| 授業の方法   |  |             |                   |                       |
| 講義で知識を学び、学内での演習を通して技術の習得を行う。学生は利用者役、介護者役を体験しながら実技を学んでいくが、単に手順を覚えることに集中するのではなく、一つ一つの介護の根拠を考えながら実践していく。また、利用者の立場から介護を受けとめ、より良い方法を考えていく機会としたい。                           |  |             |                   |                       |
| 学習の成果(学習成果)   |  |             |                   |                       |
| 環境調整・家事・食事・排泄・終末期の介護の意義と目的を説明でき、介護に必要な基礎的技術を習得し、利用者の気持ちを考えながら介護技術を提供することができる。   |  |             |                   |                       |
| 授業のスケジュールと内容  |  |             |                   |                       |
| 第1回目  | 環境整備① 快適な居住環境整備と介護 (和田)                        |             |                   |                       |
| 第2回目  | 環境整備② 環境調整の技法【演習①】ベッドメイキング<課題① 第3回に提出> (和田・新井) |             |                   |                       |
| 第3回目  | 環境整備③ 環境調整の技法【演習②】シーツ交換 (和田・新井)                |             |                   |                       |
| 第4回目  | 生活と家事① 家事と生活の理解 【生活環境の演習】 (和田)                 |             |                   |                       |
| 第5回目  | 生活と家事② 家事援助に関する基礎的知識と生活支援 (和田)                 |             |                   |                       |
| 第6回目  | 食事① 食事に関する基礎知識 (和田)                            |             |                   |                       |

|   |   |   |
|---|---|---|
| 第7回目  | 食事② 自立に向けた食事の介護 食事の意義と目的 食事に関する利用者のアセスメント (和田)                        |   |
| 第8回目  | 食事③ 安全で的確な食事介助の技法【演習③】<課題② 第9回に提出> (和田・新井)                            |   |
| 第9回目  | 排泄① 排泄に関する基礎知識 (和田) (小テスト①)   |   |
| 第10回目   | 排泄② 排泄の意義と目的 利用者のアセスメントと安全で的確な排泄介助の技法 (和田)                            |   |
| 第11回目   | 排泄③ 安全で的確な食事介助利用者の状態・状況に応じた排泄介助の実際【演習④】<br>おむつ交換<課題③ 第12回に提出> (和田・新井) |   |
| 第12回目   | 排泄④ 利用者の状態・状況に応じた排泄介助の実際【演習⑤】ベッド上排泄 (和田・新井)                           |   |
| 第13回目   | 終末期介護① 終末期に関する基礎知識 (和田)   |   |
| 第14回目   | 終末期介護② 終末期ケアとは 高齢者の死に至る過程 (和田)  |   |
| 第15回目   | 終末期介護③ 臨終が近づいた時の兆候と介護 基本的態度 DVD「いのちに寄り添う」視聴 (和田) (小テスト②)              |   |
| 成績評価の方法と基準  |   |   |
| 評価の領域   | 割合  | 評価の基準   |
| 授業参加態度  | 20%   | 評価基準Sは、授業の準備(テキスト、配布資料等)が整い、授業に集中している。ディスカッション場面では他者の話に耳を傾け、自らの意見も積極的に述べるができる。                  |
| レポート  | 30%   | 演習時の振り返り用紙<課題①~③>で評価する。評価基準Sは、提出期限を厳守していること。自分の体験による感想のみならず、利用者側に立って自身の介護を振り返り、課題が明確に記載できていること。 |
| 調査報告書   |   |   |
| 小テスト  | 50%   | 第9回目、15回目に小テストを行い解説をする。穴埋め問題、選択問題、記述問題等   |
| 試験  |   |   |
| 発表内容(態度含む)  |   |   |
| その他   |   |   |
| 教科書と参考図書  |   |   |
| ①介護職員初任者研修テキスト/中央法規(介護初任者研修講座Iと同じ)<br>②生活支援技術マニュアル  |   |   |
| 履修上の留意点・ルール   |   |   |
| この授業は、介護職員初任者研修修了のための必修科目である。講義・グループワークとも積極的に参加すること。欠席した場合は、必ずその部分の学習を補い届出等は速やかに提出すること。教室での飲食、机上への飲み物の放置も禁ずる。演習時は身だしなみを整える。また、自己練習をし、技術の向上に努めること。 |   |   |